



プライマリー接種がファイザーまたはモデルナの場合

免疫機能が中程度または重度に低下している人には、mRNAワクチンの追加（3回目）接種が推奨されます。

CDCは、ファイザーまたはモデルナ製ワクチンのプライマリー接種を受けた中等度から重度の免疫不全のある方々に追加（3回目）接種を受けることを推奨しています。これには、以下のような人が含まれます。

- 腫瘍または血液の癌の治療中である。
- 臓器移植を受け、免疫抑制剤を服用している。
- 過去2年以内に幹細胞移植を受けたか、免疫抑制剤を服用している。
- 中等度または重度の原発性免疫不全症（ディジョージ症候群、ウィスコット・アルドリッチ症候群など）
- 進行性または未治療のHIV感染症
- 免疫応答を抑制する可能性のある高用量コルチコステロイドまたは他の薬剤による積極的な治療を受けている。

3回目接種のワクチンは、プライマリー接種と同じCOVID-19ワクチンでなければなりません。COVID-19ワクチンの追加接種の必要性、及び現在の治療計画に基づく接種の最適な時期については、医師にご相談ください。これは、免疫抑制治療を開始または再開しようとしている場合に特に重要です。

ブースター接種は、追加（3回目）接種を受けてから6か月以後に受けることを検討し、どのCOVID-19ワクチンでも接種を受けることができます。

ファイザー – 追加接種はファイザーでなければなりません



モデルナ – 追加接種はモデルナでなければなりません



プライマリー接種がジョンソン & ジョンソンの場合

CDCは、プライマリー接種がJ&Jであった中等度から重度の免疫不全の方々にブースター接種を受けることを推奨しています。現在の治療計画に基づく接種の最適な時期については、医師にご相談ください。これは、免疫抑制治療を開始または再開しようとしている場合に特に重要です。

